

バイオマス取組事例概要

東北

(バイオマス活用協議会会長賞)

- ・ 応募主体 セイホク株式会社 石巻工場
- ・ 都道府県・市町村 宮城県石巻市
- ・ 取組分野 発電(木質直接燃焼)

取組概要

再生の難しい建設廃材等からバイオマス発電及び熱利用。

セイホク(株)は、合板製造過程で発生する木質系端材をチップ化し、パーティクルボードやMDF(中質繊維板)として利用するマテリアルリサイクルを行っている。

自社工場内で発生する樹皮等のリサイクル不適物及び回収した建設廃材(48,000t/年)を収集・木屑チップ化し、直接ボイラー燃焼させ発電する予定であり、うち約1,700万kWhを自社利用し、余剰電力(12万kWh)を売電する予定。(平成17年10月1日運転開始予定)

木質バイオマス有効利用により、平成16年度原油換算消費量7,492kLにあたる一次エネルギー使用量の低減を予定している。

また、平成16年1月に「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」の規定に基づき、農林水産大臣及び経済産業大臣の認定を取得している。

